

お知らせ

秋の拡大月間が8月を準備期間とし、9月・10月で行われます。組合未加入の建設職人がいたら分会役員までご紹介ください。

朝志和

発行所

埼玉土建一般労働組合朝志和支部
〒351-0007 朝霞市岡3-24-37
TEL048-462-1303 FAX048-463-7059
《発行人》朝志和支部教育宣伝部
第230号 定価30円
(機関紙代は組合費に含まれています)
MAIL asashiwa@saitama-doken.or.jp



全県から323人の仲間が集まり=つくば国際会議場にて

全県から323人の仲間が集まり

分会全世代活動交流ミーティング

世代間を超えた交流 学びあえた分散会

7月6～7日の2日間、茨城県つくば市の「つくば国際会議場」において「分会全世代活動交流ミーティング」が開催され、全県から323人、朝志和支部からは9人が参加しました。1日目、午前中の全体会では小峰委員長のあいさつの後、本部から4人が基調報告を行い、支部からの典型報告として越谷・川越・飯能日高支部から報告がありました。各支部からの報告は、

持続可能な建設業に向け 予算要求中央総決起大会

7月12日(金)日比谷野外音楽堂にて「物価高騰・仕事と暮らしを守れ!大幅な賃金・単価引き上げ、予算要求総決起大会」が開催されました。全国から1951人(朝志和支部9人)が参加しました。

主催者の中西委員長は全建総連は61万人の組織で、能登半島地震では木造仮設住宅を建設するなど、素晴らしい役割を發揮している。また、今国会では「持続可能な建設業の実現にむけた100万人国会請願署名」を19万人以上集めて、参院本会議での採択を実現し、担い手3法改正の要



全世代交流ミーティングの支部からの参加者

づくりを交流する」の2つのテーマにした報告がありました。朝志和支部は第1分科会テーマAを担当、西副支部長が報告者になり、分会執行委員会は全分会が公共施設にて開催し、役員の高齢化や役員選定に苦労していること。その中でも中央分会は徹底したりんぼん制で役員を必ずやっってもらおうという方針だということなどが報告されました。

つばい、分会のこれからについてを参加者で語り合いました。2日目午後からはまた全体会となり、全支部か

ら感想と決意表明があり、朝志和支部からは中野次世代部長(花の木)が報告をしました。【中央 亀山章】



雨のなか全国から1951人の仲間が集まり

求項目が盛り込まれていると強調しました。各党の国会議員あいさつ後、要請事項が手渡されました。決意表明で東京都連青年組合員は「建設産業は就業する若者の減少と高齢化が起きている。」

最後に大会決議を大きな拍手で確認。閉会・団結カンパローを平山副委員長が雨の降りしきるなかで行い、デモは行わず解散しました。【和光北 田澤達好】

前進

夏が来れば思い出す。美しい景色ではなく、広島・長崎の原爆。大戦記念日。大きな戦争があり、多くの犠牲者を出した戦争。戦争はもうこりごりだと思わなかったはずなのに、未だに戦争は無くならない▼日本はまた戦争の準備をしている。「目には目を。歯には歯を」 「やられる前にやっちゃまえ」という態度では、昔と何も変わっていない▼戦前の日本は軍国主義で、お国の為に命を捧げよと命じられたら、断ることは一切許されなかった。そして、日本の植民地支配は永くは続かず、太平洋戦争へ突入した▼戦争の反省を基に作られた日本国憲法は徹底的に戦争を否定し、人間の命と尊厳に最高の価値を置いた。この崇高な憲法を活かさず、変えようとしている政治家たちは、太平洋戦争に対する反省が無いのだから。同じ過ちを繰り返そうとしている人たちに對して、何も言わないのは賛成しているのと同じことになってしまふ。「戦争はイヤだ」「子や孫に戦争はさせない」と言い続け、この憲法を守るだけでなく、世界に広めることが、今を生きる私たちの役目だ。

